

## 令和元年度 継続中事業の自己評価結果

年 度	再評価対象事業					再評価対象外事業				自己評価		
	再評価時点	A～Cの 現状				再評価 時点	現状			対象事業	結果 ※2	
		うち A～C ※1	継続事業 自己評価 対象事業	完 了	計画 廃止等		継続事業 自己評価 対象事業	完 了	計画 廃止等		ア	イ
平成27年度	2事業	2事業	2事業	—	—	1事業	—	1事業	—	2事業	—	2事業
平成28年度	17事業	16事業	16事業	—	—	2事業	2事業	—	—	18事業	2事業	16事業
平成29年度	6事業	5事業	5事業	—	—	—	—	—	—	5事業	4事業	1事業
計	25事業	23事業	23事業	—	—	3事業	2事業	—	—	25事業	6事業	19事業

## ※1 【対応方針】

- 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

## ※2 【自己評価結果】

- ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗していない

事業再評価後の取組状況 - 平成27年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗していない

(事業費 単位：億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					30年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
				27年度 (事業再評価時)	28年度	29年度	30年度	元年度					
H27 -01	街路 [建設局] 津守阿倍野線整備事業	事業継続 (A)	本路線は、道路ネットワークの形成や地域の防災機能向上のためにも整備が必要な路線として予算を確保し、用地取得完了後、集中的に工事を実施するなど、完了予定年度での完成に向けて重点的に事業を実施する。	計画	事業費	全体	67	67	67	67	都市計画道路の整備の進め方(重点化の考え方)を改めて整理し、策定した「都市計画道路の整備プログラム」(H28.9)及び事業進捗状況等より、「今後の取組方針」のとおり、重点的に事業を実施する路線としており、H30年度は用地取得、電線共同溝及び歩道整備を行い、事業の進捗を図った。	[自己評価結果] イ [計画どおりに進捗していない理由] 重点的に予算を確保し、事業を実施してきたが、用地交渉において、権利者との調整に時間を要したため。 [事業期間の変更をした理由] 上記の理由により、完了年度の見直しが必要となったため。	
						累計	48	57	62	67			
						進捗率	73%	86%	93%	100%			
				完了年度		H30	H30	H30	H30				
				実績	事業費	全体	67	67	67	67			
						累計	48	51	51	53			
						進捗率	73%	76%	77%	80%			
完了年度	H30	H30	H30			R2							
H27 -02	街路 [建設局] 淀川北岸線(菅原)整備事業	事業継続 (B)	今後も予算の範囲内で着実な事業実施に努め、完了予定年度の完成に向けて取組む。	計画	事業費	全体	147	147	147	147	147	都市計画道路の整備の進め方(重点化の考え方)を改めて整理し、策定した「都市計画道路の整備プログラム」(H28.9)及び事業進捗状況等より、「今後の取組方針」のとおり、予算の範囲内で着実な事業実施を図る路線としており、H30年度は用地取得及び対面通行化を行うための暫定整備を実施し、事業の進捗を図った。	[自己評価結果] イ [計画どおりに進捗していない理由] 下記のとおり、事業期間の見直しを行い、事業進捗を変更したため。 [事業期間の変更をした理由] 「都市計画道路の整備プログラム」において、整備計画を見直したため。
						累計	35	73	91	110	128		
						進捗率	24%	49%	62%	75%	87%		
				完了年度		R2	R2	R2	R2	R2			
				実績	事業費	全体	147	147	147	147			
						累計	35	38	38	42			
						進捗率	24%	26%	26%	29%			
完了年度	R2	R8以降	R8以降			R8以降							

事業再評価後の取組状況 - 平成28年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗していない

(事業費 単位：億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点											
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					30年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由					
				28年度 (事業再評価時)	29年度	30年度	元年度	2年度							
H28-01	街路 [建設局] 河堀口舎利寺線	事業継続 (A)	用地買収が難航しており事業が長期化しているが、住民からは早期整備を求める嘆願書も提出されていることから、重点的に予算を確保し、面的整備としての生野南部地区整備事業の完了年度である平成31年度の概成及び平成34年度の事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	55	55	55	55	55	都市計画道路の整備の進め方(重点化の考え方)を改めて整理し、策定した「都市計画道路の整備プログラム」(H28.9)及び事業進捗状況等より、「今後の取組方針」のとおり、重点的に事業を実施する路線としており、H30年度は用地取得、電線共同溝及び歩道整備を行い、事業の進捗を図った。	[自己評価結果] イ [理由] 重点的に予算を確保し、事業を実施してきたが、用地交渉において、権利者との調整に時間を要したため。		
						累計	44	46	48	50	53				
						進捗率	79%	83%	87%	92%	96%				
				完了年度		R4	R4	R4	R4	R4					
				実績	事業費	全体	55	55	55						
						累計	44	45	46						
						進捗率	79%	82%	84%						
完了年度	R4	R4	R4												
H28-02	街路 [建設局] 鞍作線	事業継続 (C)	限られた予算の中で本路線への重点的な予算の配分は難しく、買取要望への対応など限定的な事業実施となり、事業完了には長時間を要するが、今後、事業中の重点化路線の事業収束に伴い、予算の確保ができれば、残る用地取得と道路整備を進め、事業効果の早期発現に努める。	計画	事業費	全体	25	25	25	25	25	都市計画道路の整備の進め方(重点化の考え方)を改めて整理し、策定した「都市計画道路の整備プログラム」(H28.9)及び事業進捗状況等より、「今後の取組方針」のとおり、限定的な事業実施にとどめる路線としており、H30年度は用地取得に向け、用地交渉を行い、事業の進捗を図った。	[自己評価結果] ア [理由]		
						累計	22	22	22	22	22				
						進捗率	89%	89%	89%	89%	89%				
				完了年度		R7	R7	R7	R7	R7					
				実績	事業費	全体	25	25	25						
						累計	22	22	22						
						進捗率	89%	89%	89%						
完了年度	R7	R7	R7												
H28-03	街路 [建設局] 尼崎堺線(西成南)	事業継続 (C)	限られた予算の中で本路線への重点的な予算の配分は難しく、買取要望への対応など限定的な事業実施となり、事業完了には長時間を要するが、今後、事業中の重点化路線の事業収束に伴い、予算の確保ができれば、残る用地取得と道路整備を進め、事業効果の早期発現に努める。	計画	事業費	全体	114	114	114	114	114	都市計画道路の整備の進め方(重点化の考え方)を改めて整理し、策定した「都市計画道路の整備プログラム」(H28.9)及び事業進捗状況等より、重点的に事業を実施する路線としており、H30年度は用地取得を行い、事業の進捗を図った。	[自己評価結果] イ [理由] 重点的に予算を確保し、事業を実施してきたが、用地交渉において、権利者との調整に時間を要したため。		
						累計	65	66	69	74	79				
						進捗率	57%	58%	60%	65%	69%				
				完了年度		R10	R10	R10	R10	R10					
				実績	事業費	全体	114	114	114						
						累計	65	67	68						
						進捗率	57%	59%	60%						
完了年度	R10	R10	R10												
H28-04	街路 [建設局] 十三吹田線	事業継続 (C)	限られた予算の中で本路線への重点的な予算の配分は難しく、買取要望への対応など限定的な事業実施となり、事業完了には長時間を要するが、今後、事業中の重点化路線の事業収束に伴い、予算の確保ができれば、残る用地取得と道路整備を進め、事業効果の早期発現に努める。	計画	事業費	全体	68	68	68	68	68	都市計画道路の整備の進め方(重点化の考え方)を改めて整理し、策定した「都市計画道路の整備プログラム」(H28.9)及び事業進捗状況等より、予算の範囲内で着実な事業実施を図る路線としており、H30年度は用地取得及び解体設計を行い、事業の進捗を図った。	[自己評価結果] イ [理由] 予算の範囲内で着実な事業実施に努めた が、用地交渉において、権利者との調整に時間を要したため。		
						累計	14	16	21	26	31				
						進捗率	20%	24%	31%	38%	46%				
				完了年度		R10	R10	R10	R10	R10					
				実績	事業費	全体	68	68	68						
						累計	14	14	14						
						進捗率	20%	20%	20%						
完了年度	R10	R10	R10												

事業再評価後の取組状況 - 平成28年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗していない

(事業費 単位：億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					30年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
				28年度 (事業再評価時)	29年度	30年度	元年度	2年度					
H28-05	街路 [建設局] 天王寺大和川線	事業継続 (B)	JR阪和線の高架化工事事業の完了後、既に広大な空間が広がっている状況から本事業への地域の関心は高まっており、依然として事業の必要性も高いことから、引き続き地域等と調整を図りながら、予算の範囲内で着実な事業実施に努め、完了予定年度の完成に向けて取組む。	計画	事業費	全体	942	942	942	942	942	都市計画道路の整備の進め方(重点化の考え方)を改めて整理し、策定した「都市計画道路の整備プログラム」(H28.9)及び事業進捗状況等より、「今後の取組方針」のとおり、予算の範囲内で着実な事業実施を図る路線としており、H30年度は用地取得及び道路設計を行い、事業の進捗を図った。	[自己評価結果] イ [理由] 予算の範囲内で着実な事業実施に努めた が、用地交渉において、権利者との調整に時間を要したため。
						累計	738	779	804	828	852		
						進捗率	78%	83%	85%	88%	90%		
				完了年度		R10	R10	R10	R10	R10			
				実績	事業費	全体	942	942	942				
						累計	738	775	797				
						進捗率	78%	82%	85%				
完了年度	R10	R10	R10										
H28-06	街路 [建設局] 長柄塚線	事業継続 (A)	本路線は、道路ネットワークの形成を図るため、阿倍野再開発事業と連携した整備が必要な路線として予算を確保し、用地取得完了後、集中的に工事を実施するなど、完了予定年度での完成に向けて重点的に事業を実施する。	計画	事業費	全体	5	5	5	5	5	都市計画道路の整備の進め方(重点化の考え方)を改めて整理し、策定した「都市計画道路の整備プログラム」(H28.9)及び事業進捗状況等より、予算の範囲内で着実な事業実施を図る路線としており、H30年度は用地取得に向け、用地交渉を行い、事業の進捗を図った。	[自己評価結果] イ [理由] 予算の範囲内で着実な事業実施に努めた が、用地交渉において、権利者との調整に時間を要したため。
						累計	1	1	4	5	5		
						進捗率	15%	20%	67%	85%	87%		
				完了年度		R3	R3	R3	R3	R3			
				実績	事業費	全体	5	5	5				
						累計	1	2	2				
						進捗率	15%	33%	34%				
完了年度	R3	R3	R3										
H28-07	街路 [建設局] 木津川平野線	事業継続 (A)	本路線は、道路ネットワークの形成や地域の防災機能向上のためにも整備が必要な路線として予算を確保し、用地取得完了後、集中的に工事を実施するなど、完了予定年度での完成に向けて重点的に事業を実施する。	計画	事業費	全体	121	121	121	121	121	都市計画道路の整備の進め方(重点化の考え方)を改めて整理し、策定した「都市計画道路の整備プログラム」(H28.9)及び事業進捗状況等より、「今後の取組方針」のとおり、重点的に事業を実施する路線としており、H30年度は用地取得及び物件調査を行い、事業の進捗を図った。	[自己評価結果] イ [理由] 重点的に予算を確保し、事業を実施してきたが、用地交渉において、権利者との調整に時間を要したため。
						累計	4	16	24	32	40		
						進捗率	4%	14%	20%	27%	33%		
				完了年度		R10	R10	R10	R10	R10			
				実績	事業費	全体	121	121	121				
						累計	4	7	12				
						進捗率	4%	5%	10%				
完了年度	R10	R10	R10										
H28-08	街路 [建設局] 正蓮寺川歩行者専用道	事業継続 (B)	本路線は、歩行者ネットワークの形成や地域防災機能向上のためにも整備が必要な路線として予算を確保し、関連事業の工事進捗を勘案しながら、予算の範囲内で着実な事業実施に努め、完了予定年度での完成に向けて取組む。	計画	事業費	全体	23	23	23	23	23	都市計画道路の整備の進め方(重点化の考え方)を改めて整理し、策定した「都市計画道路の整備プログラム」(H28.9)及び事業進捗状況等より、「今後の取組方針」のとおり、予算の範囲内で事業実施を図る路線としており、H30年度は歩行者専用道整備を行い、事業の進捗を図った。	[自己評価結果] イ [理由] 予算の範囲内で着実な事業実施に努めた が、年次計画どおりの予算確保が困難であったため。
						累計	14	15	16	17	17		
						進捗率	62%	67%	71%	72%	74%		
				完了年度		R7	R7	R7	R7	R7			
				実績	事業費	全体	23	23	23				
						累計	14	15	15				
						進捗率	63%	64%	66%				
完了年度	R7	R7	R7										

事業再評価後の取組状況 - 平成28年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗していない

(事業費 単位：億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					30年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
				28年度 (事業再評価時)	29年度	30年度	元年度	2年度					
H28-09	公園 [建設局] 正蓮寺川公園	事業継続 (B)	引き続き関連事業の工事進捗を勘案しながら、予算の範囲内で、着実な事業実施を進める。	計画	事業費	全体	67	67	67	67	新設工事に伴う公園区域拡張。	[自己評価結果]  イ  [理由] 年次計画どおりの事業費の確保が出来なかったため、計画当初に比べて進捗率が低い値となった。	
						累計	21	27	32	34			36
						進捗率	31%	40%	47%	51%			54%
					完了年度	R7	R7	R7	R7	R7			
				実績	事業費	全体	67	67	67				
						累計	21	22	24				
						進捗率	31%	33%	35%				
完了年度	R7	R7	R7										
H28-10	道路 [建設局] 市道西成区第369号線道路改良事業	事業継続 (B)	本路線は、歩行者等の安全対策ならびに自動車交通の円滑化、さらに防災機能向上のためにも整備が必要な路線として、予算の範囲内で着実な事業実施に努め、完了予定年度での完成に向けて取組む。	計画	事業費	全体	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	道路整備に関する関係先との調整を進めた。	[自己評価結果]  イ  [理由] 道路整備に関する関係先との調整に時間を要したため。
						累計	19.1	20.9	22.6	23.1	23.4		
						進捗率	82%	89%	97%	99%	100%		
					完了年度	R2	R2	R2	R2	R2			
				実績	事業費	全体	23.4	23.4	23.4				
						累計	19.1	19.1	19.1				
						進捗率	82%	82%	82%				
完了年度	R2	R2	R2										
H28-11	橋梁 [建設局] 主要地方道大阪狭山線(下高野橋)橋梁架替事業	事業継続 (A)	新橋架設工事が平成23年度に完了し、既設橋梁撤去までの目途も立っていることから、平成29年度の事業完了をめざす。	計画	事業費	全体	28.8	28.8			用地取得に向けて権利者と協議中である。	[自己評価結果]  イ  [理由] 用地取得について、権利者との協議に時間を要しているため。  [事業期間の変更をした理由] 上記の理由により、完了年度の見直しが必要となったため。	
						累計	25.8	28.8					
						進捗率	89%	100%					
					完了年度	H29	H29						
				実績	事業費	全体	28.8	28.8	28.8				
						累計	25.8	28.5	28.5				
						進捗率	89%	98%	98%				
完了年度	H29	H33	H33										
H28-12	住宅地区改良 [都市整備局] 長橋住宅地区改良事業	事業継続 (B)	権利者に対し粘り強い交渉を行いながら、用地取得を進め、計画的な改良住宅の建設・施設整備を行うなど、早期事業完了に向けて事業を実施する。	計画	事業費	全体	90	90	90	90	90	事業協力に向けて粘り強く交渉を行った結果、協力に前向きな姿勢を示した権利者に対し、用地買収等の早期完了に向け、建物調査等を行った。 また、下半期においては未買収用地の大部分を占める大地主からも事業協力への確約を得ることができ、次年度以降の用地買収に向けた調整等を行った。	[自己評価結果]  イ  [理由] 事業開始から20年以上が経過しており、用地買収等にかかる権利者との調整及び交渉に想定以上の時間を要しているため。 しかし、今後はH30年度に行った大地主との調整に基づき買収を進めていく予定であるため、今年度以降は事業が大きく進捗する見込みである。
						累計	65.1	70	82	88	90		
						進捗率	72%	79%	92%	98%	100%		
					完了年度	R2	R2	R2	R2	R2			
				実績	事業費	全体	90	90	90				
						累計	65	66	66				
						進捗率	72%	73%	73%				
完了年度	R2	R2	R2										

事業再評価後の取組状況 - 平成28年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗していない

(事業費 単位：億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応方針	今後の取組方針	取組状況					30年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
				28年度 (事業再評価時)	29年度	30年度	元年度	2年度					
H28-13	港湾公害防止対策 [港湾局] 大阪港内公害防止対策事業	事業継続 (C)	平成30年度までは短期で完了させる必要がある堤防の耐震対策箇所を優先するため限定的な事業実施となるが、それ以後は事業の重点化を図り、濃度の高い箇所を優先的に除去する等、効率的な実施により平成41年度の完了をめざす。なお、これまで未着手であった高濃度ダイオキシン類対策についても平成28年度に試験工事を行う等、早期の対策完了に向けて取り組んでいく。また、港湾局単独ではなく、全庁横断的に環境改善に取り組めるよう検討していく。	計画	事業費	全体	147	147	147	147	147	大正区福町堀、木津川の底質除去を実施し進捗率13.7%を達成した。	[自己評価結果] ア [理由]
						累計	13.7	18.3	20.2	22.2	24.0		
						進捗率	9.4%	12.4%	13.7%	15.1%	16.3%		
					完了年度	R11	R11	R11	R11	R11			
				実績	事業費	全体	147	147	147				
						累計	16.6	18.3	20.2				
						進捗率	11.3%	12.4%	13.7%				
					完了年度	R11	R11	R11					
H28-14	国際競争拠点都市整備（うめきた2期区域基盤整備） [建設局] JR東海道線支線地下化事業	事業継続 (A)	うめきたのまちづくり実現に向けて、着実に事業を推進する。	計画	事業費	全体	540	540	540	540	540	躯体工事等、うめきたのまちづくり実現に向けた基盤整備を実施。	[自己評価結果] イ [理由] 関係先との協議の結果、一部の工事において施工時期が変更となったため。なお、施工時期の変更に伴う2023年春の地下化切替への影響は無い。
						累計	6.7	133.4	205.7	279.4	341.8		
						進捗率	1%	24.7%	38.1%	51.7%	63.3%		
					完了年度	R5	R5	R5	R5	R5			
				実績	事業費	全体	540	540	540				
						累計	6.7	126.9	171.4				
						進捗率	1.0%	23.5%	31.7%				
					完了年度	R5	R5	R5					
H28-15	国際競争拠点都市整備（うめきた2期区域基盤整備） [都市整備局] 大阪駅北大深西地区土地区画整理事業	事業継続 (A)	うめきたのまちづくり実現に向けて、着実に事業を推進する。	計画	事業費	全体	262	262	262	262	262	筑前橋筋埋設移設工事等、うめきたのまちづくり実現に向けた基盤整備を実施。	[自己評価結果] イ [理由] 開発計画によりインフラ工事等の見直しを行った結果、執行計画を変更したため。なお、執行計画の変更に伴う2024年の先行まちびらきへの影響は無い。
						累計	5.5	61	84	97	105		
						進捗率	2%	23%	32%	37%	40%		
					完了年度	R8	R8	R8	R8	R8			
				実績	事業費	全体	262	262	262				
						累計	40	49	60				
						進捗率	15%	19%	23%				
					完了年度	R8	R8	R8					
H28-16	国際競争拠点都市整備（うめきた2期区域基盤整備） [都市計画局] うめきた新駅設置事業	事業継続 (A)	うめきたのまちづくり実現に向けて、着実に事業を推進する。	計画	事業費	全体	98	98	98	98	98	新駅の躯体工事等、うめきたのまちづくり実現に向けた基盤整備を実施。	[自己評価結果] イ [理由] 関係先との協議の結果、一部の工事において施工時期が変更となったため。なお、施工時期の変更に伴う2023年春の新駅開業への影響は無い。
						累計	0.2	10	21	33	45		
						進捗率	0.2%	10%	22%	34%	46%		
					完了年度	R5	R5	R5	R5	R5			
				実績	事業費	全体	98	98	98				
						累計	0.2	9	19				
						進捗率	0.2%	10%	19%				
					完了年度	R5	R5	R5					

事業再評価後の取組状況 - 平成28年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗していない

(事業費 単位：億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					30年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
				28年度 (事業再評価時)	29年度	30年度	元年度	2年度					
H28 -17	街路 [建設局] 豊里矢田線(北 田辺)			計画	事業費	全体	139	139	139	139	都市計画道路の整備の進め方(重点化の考え方)を改めて整理し、策定した「都市計画道路の整備プログラム」(H28.9)及び事業進捗状況等より、重点的に事業を実施する路線としており、H30年度は用地取得、電線共同溝、車道整備及び歩道整備を行い、事業の進捗を図った。	[自己評価結果]  イ  [理由] 重点的に予算を確保し、事業を実施してきたが、地中障害物の影響などにより道路整備の進捗が遅れが生じたため。	
						累計	128	138	138	139			
						進捗率	92%	99%	100%	100%			
					完了年度	R元	R元	R元	R元				
				実績	事業費	全体	139	139	139				
						累計	128	133	137				
						進捗率	92%	95%	98%				
完了年度	R元	R元	R元										
H28 -18	道路 [建設局] 主要地方道住吉 八尾線 道路改良事業			計画	事業費	全体	14.5	14.5	14.5	14.5	道路整備に関する関係先との調整を進めた。	[自己評価結果]  イ  [理由] 用地買収交渉において、権利者との調整に時間を要したため。	
						累計	13.2	13.6	13.9	14.2			14.5
						進捗率	91%	94%	96%	99%			100%
					完了年度	R2	R2	R2	R2	R2			
				実績	事業費	全体	14.5	14.5	14.5				
						累計	13.2	13.2	13.2				
						進捗率	91%	91%	91%				
完了年度	R2	R2	R2										

事業再評価後の取組状況 - 平成29年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗していない

(事業費 単位：億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					30年度の取組内容	自己評価結果 計画どおりに進捗していない、全体事業費や事業期間の変更をした場合の理由			
				29年度 (事業再評価時)	30年度	元年度	2年度	3年度					
H29-01	連続立体交差 [建設局] 阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業	事業継続 (A)	本事業については、踏切除却により都市交通の円滑化、踏切事故解消、都市防災性の向上が図れることから、事業を継続することとし、今後の用地取得の推進、事業費確保の取組により、平成39年度までの完了に向け重点的に実施する。	計画	事業費	全体	1,625	1,625	1,625	1,625	予算確保に努め、計画的な高架構造物の構築を行った。	[自己評価結果]  ア  [理由]	
						累計	766	975	1121	1202			1283
						進捗率	47%	60%	68%	74%			79%
				完了年度		R9	R9	R9	R9	R9			
				実績	事業費	全体	1625	1625					
						累計	766	975					
						進捗率	47%	60%					
完了年度	R9	R9											
H29-02	住区基幹公園整備事業 [建設局] 御幣島中央公園整備事業	事業継続 (B)	引き続き地元や区などと協議・調整を行い、コスト削減を図りながら、予算の範囲内で着実に事業実施を進める。	計画	事業費	全体	15	15	15	15	公園整備に向けた地元調整。	[自己評価結果]  イ  [理由] 地元調整を行ったが、地元調整の難航により、公園事業実施を行うことができなかった。	
						累計	10	12	13	15			
						進捗率	67%	81%	90%	100%			
				完了年度		R2	R2	R2	R2				
				実績	事業費	全体	15	15					
						累計	10	10					
						進捗率	67%	67%					
完了年度	R2	R2											
H29-03	住区基幹公園整備事業 [建設局] 大和川公園整備事業	事業継続 (C)	引き続き地元や区などと協議・調整を行い、コスト削減を図りながら、着実な事業実施を進める。また、一部阪和貨物線跡地については、用地の権原取得交渉を進める。	計画	事業費	全体	268	268	268	268	用地の権原取得に向けた調整。	[自己評価結果]  ア  [理由]	
						累計	265	265	265	265			266
						進捗率	99%	99%	99%	99%			99%
				完了年度		R6	R6	R6	R6	R6			
				実績	事業費	全体	268	268					
						累計	265	265					
						進捗率	99%	99%					
完了年度	R6	R6											
H29-04	街路 [建設局] 淀川左岸線(2期)	事業継続 (A)	工程、事業費の管理に努めつつ、早期供用に向けて事業を鋭意進めていく。	計画	事業費	全体	4,312	4,312	4,312	4,312	支障物の移設撤去工事を継続して実施するとともに、トンネル築造工事に伴う河川の仮堤防工事等を実施。	[自己評価結果]  ア  [理由] 事業費累計は計画以下であるものの、事業計画上の実施すべき工事等は、遅延なく進捗しており、事業としては計画どおり着実に進んでいる。	
						累計	3,224	3,271	3,357	3,458			3,578
						進捗率	75%	76%	78%	80%			83%
				完了年度		R8	R8	R8	R8	R8			
				実績	事業費	全体	4,312	4,312					
						累計	3,214	3,250					
						進捗率	75%	75%					
完了年度	R8	R8											

事業再評価後の取組状況 - 平成29年度 事業再評価実施事業

【対応方針】 事業継続(A)：完了時期を宣言し、重点的に実施するもの  
 事業継続(B)：予算の範囲内で着実に継続実施するもの  
 事業継続(C)：限定的な実施にとどまるもの

【自己評価結果】 ア：計画どおりに進捗している  
 イ：計画どおりに進捗していない

(事業費 単位：億円)

番号	事業種別 [事業所管局] 事業名	事業再評価時点 (対象外事業は未記入)		自己評価時点									
		対応 方針	今後の取組方針	取組状況					30年度の取組内容	自己評価結果			
				29年度 (事業再評価時)	30年度	元年度	2年度	3年度					
H29 -05	街路 [建設局] 淀川南岸線	事業継続 (A)	淀川左岸線や淀川左岸線延伸部に合 わせて、着実に事業を推進する。	計画	事業費	全体	62	62	62	62	62	淀川左岸線(2期)事業にか かる移設補償や調査設計業務等 を実施。	[自己評価結果]  ア  [理由] 事業費累計は計画以下であるものの、事 業計画上の実施すべき工事等は、遅延なく 進捗しており、事業としては計画どおり着 実に進んでいる。
						累計	7	8	12	17	21		
						進捗率	11%	12%	20%	27%	34%		
					完了年度	R13	R13	R13	R13	R13			
				実績	事業費	全体	62	62					
						累計	7	7					
						進捗率	11%	11%					
					完了年度	R13	R13						